

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2773100827
法人名	医療法人 清翠会
事業所名	まきグループホーム
所在地	大阪市旭区生江2丁目14番24号 (電話) 06-6929-5355

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成21年2月12日	評価確定日	平成21年4月13日

【情報提供票より】(平成 20 年 12 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤 11 人, 非常勤 15 人, 常勤換算	24.1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	1 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	66,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,600 円		

(4) 利用者の概要(平成20年 12 月 1 日現在)

利用者人数	27 名	男性 3 名	女性 24 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名
要介護3	12 名	要介護4	5 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.6 歳	最低 70 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	牧病院 大森歯科 中西クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人清翠会グループの当概ホームは、牧老人保健施設に隣接し、近隣には、区役所・消防署・税務署・郵便局・図書館などの公共施設があります。地域に根ざしたホームを構築する為に、良質な福祉サービスを提供・健康で豊かな生活の支援・責任と誇りを持ち活気あり働きがいのある職場をつくる事を謳っています。職員はチームワーク良く、利用者が笑顔で暮らすことができるよう、利用者や家族の意向を大切に、ケアに活かせるように取り組んでいるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を活かして、入浴の回数や夜間入浴の検討を行ったり、職員で立てた献立を栄養士に見てもらいアドバイスをもらうなど積極的にサービスに向上に向けて取り組んでいます。また、グループホームネットワークでの、勉強会や親睦会に参加して交流に力を入れています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は各フロアの職員会議で自己評価の意味を理解してもらい意見を出し合い作成し取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	家族・自治会長・民生委員・地域包括支援センターの職員・管理者・事務長が出席し3ヶ月に1回開催しています。ホームの活動内容を報告とその評価、要望や助言などをもらいサービスの向上に活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	年に2回、家族会を開催したり、家族へアンケートを依頼し、意見や要望を言うことができる機会を作っています。意見・要望・苦情等はカンファレンスで話し合い運営に反映させています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	自治会の入会を予定しており、回覧版が回ってきています。自治会長から地域の行事の情報をもったり、ホームで利用できる店を紹介してもらい利用しています。日々にもできるだけ地域の店頭で買い物をすることで、地域の貢献を図っています。地域の小学校の運動会を観に行ったり、年に2~3回幼稚園児の訪問があります。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
2. 地域との支えあい				
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○	ホームの行事と運営推進会議を一緒に行う等、地域交流を広めながら、運営推進会議も2ヶ月に1回に開催できるよう取り組まれることを期待します。

外部	自己		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課との連携の機会を作るために、運推進会議の参加依頼と会議の報告を行っています。必要な報告の際に直接話をし、ホームのことを伝えています。今回、管理者が介護認定審査会の審査委員に任命され、連携の機会を作って行こうと考えています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季刊誌“まきグループホーム”を発行しホームでの生活の様子を写真入りで掲載して報告しています。暮らしぶりや健康状態については、ホーム来訪時に家族等に伝え、状況の変化があれば、随時連絡しています。遠方の方は手紙を送付しています。金銭管理は、毎月、請求書・領収書・預かり金の残金を添付して送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に2回、家族会を開催したり、家族へアンケートを依頼し、意見や要望を言うことができる機会を作っています。意見・要望・苦情等はカンファレンスで話し合い運営に反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	お利用者の馴染みの関係に配慮して、定期的な異動はしていません。管理者は、離職を最小限に減らす為に、働きやすい環境づくりに努め、意見箱“つばめBOX”を活用して、職員の意見を集めて改善に取り組んでいます。新しい職員は、馴染みの職員によるサポートにより、利用者へのダメージを防ぐ配慮がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は、中堅職員を対象に毎月研修が行われています。また、1年に1回法人内でグループワークを行ない発表する機会があります。グループホーム内では、年間計画が立てられ、新人には“認知症ケアについて”や“救急蘇生法”などの研修も必須になっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同区内のグループホームの職員と情報交換をする機会があり、勉強会を通して学びがあった。大阪市のグループホームネットワークにも加入し、勉強会や文化祭にも参加して交流を図り、サービスの質の向上に取り組まれています。		

外部	自己	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学に来てもらっています。本人が来られた時は、利用者と一緒に飲みながら話し、ホームの雰囲気を感してもらっています。老人保健施設を利用している方は、指導員と一緒に面会しています。また、入居されるフロアの担当者が面接に同行して、入居後も馴染みやすいように配慮しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の暮らしの中で、利用者の出来ることを見極め、個々に配慮して、調理、洗濯たたみ、掃除等を職員と行ったり、また懐かしの歌を唄ったり、テレビを観たりして、一緒に過ごしながらか支えあう関係を深めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の言葉や様子から思いや意向を汲み取る努力をし、介護記録に記載し、職員間で話し合い利用者の思いや意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族からは日頃から思いや意向を聞き、主治医・看護師・PTからの意見も聞き、参加できない職員は、カンファレンスノートに意見を記載し、様々な意見を集約しています。毎週カンファレンスを開催し、職員4名ほどが参加し話し合われ、より利用者本位の介護計画になるよう取り組んでいます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアチェック表をもとにモニタリングを実施しています。利用者の状況により3カ月・6カ月ごとにモニタリングを実施し、現時点のニーズやサービス提供を把握し、現状にお即した介護計画を作成しています。利用者の状態や状況の変化があれば、随時介護計画の見直しを行っています。		

外部	自己	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が近くの馴染み美容院へ行く時は同行支援をしています。また利用者の要望により個々に対応し「美空ひばり座」へ行ったり、近くの喫茶店へモーニングに出かけるなど柔軟に支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居時に家族に説明し、希望にそったかかりつけ医の受診支援に対応しています。母体が医療法人であることから提携医に変えるケースが多くみられます。2週間に1度、提携医による訪問診療が実施され、24時間連絡対応が可能体制が整えられています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化による対応の指針を作成しています。利用基準が決められており、重度化した場合は、家族・主治医・職員・訪問看護師等が話し合い、連携をとりながらホームの暮らしが可能な限り受け入れています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーの確保を継続していくのに、毎年、接遇に関する目標を決め、毎月接遇チェックノートを使用して自己、他者評価を行っています。個人情報のファイル等は、施錠できるところで保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にして、個別の支援を行うように努めています。体操やレクリエーションの参加も本人の意思を確認しながら行っています。職員が連携してケアの共有を図り、その人らしい暮らしができるように取り組んでいます。		

外部	自己	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の持っている力を活かして、調理、配膳、片づけ等を職員と一緒に出来ることをしています。利用者は、同じテーブルを囲んで楽しく、食事ができるように配慮しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回となっていますが、利用者の身体状況や希望に合わせて職員の勤務状況を変えて、各フロアでの入浴の時間帯が異なります。3階フロアでは、夜間入浴にも対応しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の持っている力を活かし、調理、味付け、配膳、洗濯など役割を持ってもらっています。また、近隣の銭湯に出かけたり、音楽セラピーが楽しみごとや気晴らしになっている利用者もいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望にそって、近隣の喫茶店のモーニングに出かけたり、買い物や散歩等、外出支援に努めています。落ち葉掃除やごみ出しなど日常生活で、自然に戸外に出ることが出来るように支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠する事の弊害を理解していますが、表玄関前が幹線道路に面しているため安全面に配慮して施錠しています。施錠については家族に説明し了解をえています。また、外に行きたいという希望があれば、できる限り一緒に出るようにしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を実施しています。消防署の協力による避難訓練とホーム独自で所内研修として夜間想定で実施しています。隣接の老人保健施設との協力体制も可能となっています。		

外部	自己	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量を記録し、水分量は必要な方のみ記載しています。水分摂取の少ない方は、1日の摂取量を記載し、寒天茶で水分補給をしやすいように工夫しています。夕食は管理栄養士による献立で提供し、朝と昼は職員で立てた献立を栄養士に見てもらい指導を受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各階フロアは、明るく広々としていて、リビングや廊下では、各階ごとにテーブルやソファの配置が工夫されています。畳のスペースは堀炬燵があり、2階では、雛飾りが置かれています。また、壁面を利用して、季節ごとの装飾や写真なども飾られています。3階では、犬も同居していて癒しのフロアとなっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、トイレやクローゼットが元々設置しており、その居室に利用者の使い慣れた馴染みのものを持参してもらうように入居前に説明しています。利用者の暮らしに合わせて家具やテレビ、調度品等を持参してもらい配置を考え、居心地良く過ごせるような工夫をしています。		